



2018年 9月26日発行

発行責任者: 執行委員長 岸田 和人

発行: 国土交通労働組合九州航空支部

福岡市東区大字奈多字小瀬抜1302-17

TEL092(692)5064 〒811-0204

e-mail: kyukou21st@mx71.tiki.ne.jp



写真は、鹿児島県南大隅町にある雄川（おがわ）の滝です。大河ドラマの「西郷どん」にも登場して、人気スポットになっているのでご存知の方も多いかと思います。実際に雄川の滝に行ってみると、ここは日本か？はたまた何時代か？と分からなくなるくらい日常とかけ離れた景色を堪能できますよ。是非、実際に行ってみられて下さい！

目 次

表紙

P 2・・・支部長を振り返って P 5・・・分会・班役員紹介

P 11・・・18夏季闘争7・25中央行動

P 12・・・わっぜかごんまはあちたっどのお話 編集後記

九州航空支部 前支部長 藤岡 幸喜

支部長を振り返って

前期、九州航空支部の支部長を務めさせていただきました福岡（事）管技の藤岡です。

昨年の8月より九州航空支部新執行体制がスタートし、早いもので1年が経ちました。

支部長の前に書記次長を1年間やらせて頂きましたが、それまでは、組合役員の間が全くなく、支部長の大役を拝命することに不安を感じたままの新任スタートでしたが、いろいろな方々のお力添えのもと、なんとか1年の務めを果たすことができました。

今回、九航へ出稿する機会を頂きましたので、支部長で経験したことを記事にしたいと思えます。



8月の支部定期大会で支部長スタート

◎聞いてた話と違う！（涙）

昨年の8月より支部長を引き継ぐにあたり、その1年前から前支部長の活動に同行しながら勉強し、なんとか1年間やっていけるかな？と思っていましたが、いざ支部長として活動が始まると、プラスアルファの役職（西航連議長、運輸連絡会議長）

が回ってくることを知り、愕然としたことを覚えています。

西航連議長は、西日本の4支部（中部、西日本、九州、沖縄）で議長を持ち回りしており、昨年は、ちょうど九州の番でした。西航連議長の仕事は、大阪航空局交渉を年3回するにあたり、その都度、各支部や当局側との調整などがあり、とても大変な役職でした。

また外の組織（九ブロ・九地協）との活動でも、いろいろと役職が付いた立場となりましたが、組織や活動自体がしっかり理解できない中でやっていたため、関係者の皆様には、いろいろとご迷惑をお掛けしましたが、支部役員の皆様の協力のおかげで、なんとかやってきました。

このように数年置きに回ってくる役職があるというのは、役員を引き受ける前には、全く知らなかったのですが、今回のように複数の役職が回ってくるのは、めったにないことなので、つくづく付いてないなあと思う

反面、なかなか経験できないことをさせて頂きました。

◎人前で話すのって慣れないものですよ

支部長になると人前で話す機会が多くなるのですが、もともと人前で話すことが苦手なこともあり、毎回、緊張してしまいました。本部の役員の方や他の組合役員の方の演説など聞くたびに、どうしたらあんなに堂々と話せるのだろうかと思いつつも、自分には、無理だと思いつくはずにやっついこうとしていましたが、ある日、定期大会などで発言する際に自分の業務に関することや、関心がある事については、比較的緊張せずに話せることがあり、すっかり自分でも理解して、自分の言葉で話すことが重要であることを認識し、それ以降は、いわゆる定型文に拘らずに自分の言葉で話そうと心がけて、それまでに比べて少しだけ緊張せずに話すことができるようになりました。

人前で話す機会も普段は、な

かなかないことなので、いい経験になりました。ただ最後の最後まで好きにはなれませんでした。が…。



人前で話すことは大変でした

○トラフルはつきもの

この1年間でいろいろと思いついて出に残るトラフルもありました。1つ目は、出張の際の交通トラフルです。宮崎の航空大学校へ定期大会の来賓として出席した際に、帰りの飛行機が台風の影響で欠航となり、福岡空港まで航空会社が手配したタクシーで、相乗りで4時間かけて帰ることになったのですが、タクシー

が急遽呼ばれたとのことで、燃料があまりないからエアコンは付けられないとか、最悪途中で燃料なくなるかもとか言い出して、暑いし、燃料がなくなるのではと不安になるし、大変な出張でした。

その他にも大分へのオルグの帰り、これまた天候の影響で、電車が止まって帰るのに6時間ぐらいかかったこともありまし

た。その他では、目の病気が発症し、人生初めての手術入院をすることがありました。健康だけが、取り柄の私にとっては、とても精神的に辛い時期でしたが、支部役員の皆様に助けて頂き、なんとか乗り切ることができました。

この時、本当に仲間にかけてもらったという経験をして、組合役員をして良かったと心から思ったときでした。

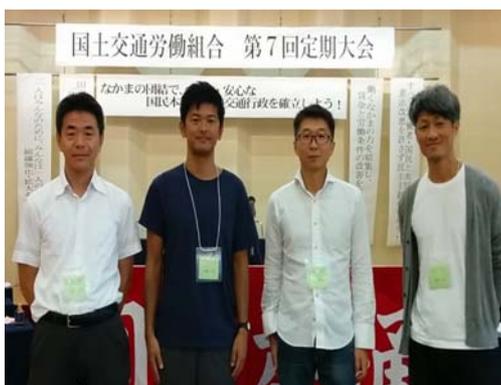
○支部長になって、初めて知ったこと。

私たちの組合活動は、ごく身

近な職場環境の改善を目的にしたものから、大きな活動になると国家公務員全体の労働条件改善を目的にしたものまであります。

そうした中で、航空以外の国土交通省の他部門の単組や、国土交通省以外の公務員の労組など様々な団体と共闘する必要ががあります。共闘における会議の場では、様々な職種の方々の職場環境について、お話を伺うことができ、航空職場では、当たり前のように行われている局交渉や欠員に関する事前調整等が、組織率が半分以下の組織では、交渉については、当局側の担当課長が出席しないことや答弁についても決まり文句しか言わず現状についての説明が行われな

するために日々頑張っている今の組合役員の方たちのおかげであることも知りました。また支部長や書記長になると九州航空支部管内の航空インシデントの対応は、もちろん組合員の交通事故等の個人的な事案についてもバックアップすることがあり、組合員個人を守るといふ体制がとられていることに驚きました。



共に頑張った支部執行委員4名と

現在、航空職場は、まだ70%以上の組織率があり高い組織率を持った組合であるため、組合としての機能を維持できておりますが、今期は、九航支部でも多くの組合員が脱退していきま

した。脱退理由は、組合費が高

い、組合役員の持ち回りが負担等、組合に入ってもメリツトがないという理由でしたが、このまま組織率が下がっていけば、組合費は上がり、組合役員の持ち回りが早くなる等の負担がより増えていき、さらなる脱退者が出てくるのが予想されます。

支部長という立場になって、「組合って本当に必要なの？」と聞かれたことがあります。当然、上記で記載した理由を伝え組合が必要であると伝えましたが、質問した方は、納得していないようでした。

その方と話していて、今の職場に大きな不満がなく、公務員を取り巻く情勢や民間等と比較した時に、これ以上の待遇改善や見込めないと諦めムードとなり職場に希望を見いだせず、プライベートを重視するライフスタイルに転換し、むしろ昔からある職員の助け合いで成り立つ組合活動が負担と思うようになっていくように感じました。

私も支部役員をやる前は、なんとなく組合は必要なんだろう

なあとというぐらいでした。組合の必要性は、組合がなくなつたときにはじめて必要性が分かるのだろうと思います。ただし、一度失つたものは、二度と元には戻りません。

支部長となり、少しでも組合員の皆さんの負担を減らしたいと思い、支部役員の数を減らしたり、組合活動のスリム化を行いました。賛否両論があり、いい成果が出たとは言えませんでした。時代の流れで、考え方もさまざまと変わっていくものですし、変わる必要があると思っています。



組合も時代の流れで変化していきます

今は、IT化でいろいろな情報が簡単に入手できる反面、不確かな情報も溢れかえっている時代ですが、そのような情報を鵜呑みにせずに一人一人がしっかりと過去の経緯や自分が置かれていた環境を理解し、そして助け合う気持ちを忘れずに行動することが重要だと思えます。

労働組合も少しずついいので、良いところは残しつつ、失敗や成功を繰り返して変化していき、その時代にあった形になればと願っています。

○感謝しありがとうございます!

最後になります。この1年間九州航空支部へご指導・助言を頂きました。国交労組の本部役員の方々に、また、各とりくみへ協力を頂いた各分会の執行委員・組合員の皆さま、そして、九州航空支部を1年間支えてくださいました支部役員のみならず、本当にありがとうございました。皆様に助けて頂いたおかげで、

なんとか1年を終えることができたと思います。組合活動を通して、普段の職場では、なかなかお会いできない方たちと接する機会があり、大変貴重な経験をさせて頂きました。

組合でお会いする方たちは、ほんとにいい人ばかりで、自分がとも恵まれた環境で、支部長をやらせてもらえたことを感謝しています。

本当にありがとうございます。

今期の九州航空支部も引き続きどうぞよろしく願います。

九州航空支部

前支部長 藤岡幸喜



2018年度 分会・班 役員紹介

奄美分会

組合員の皆様、日々の組合活動お疲れ様です。
7月より新体制による活動をスタートしました。
より良い職場環境を目指して頑張りますので
よろしくお願いいたします。



野村分会長

大分分会



玉城分会長



西川副分会長



川野書記長

日頃のご奮闘お疲れさまです。大分分会は、7月より新執行部体制となり、2018年度も引き続き頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。

佐賀班

日々のご奮闘、お疲れ様です。この度、佐賀班 班長となりました平良と申します。
佐賀班は組合員2名という少人数で構成されており、微力ながらできる限りの活動を行っています。
私は組合についての知識や活動に関わった経験に乏しく、何かとご迷惑おかけするかもしれませんが、精一杯努力してまいりますので1年間よろしく願いいたします。



平良 班長

鹿児島分会



中井 分会長



齋藤 書記長



中留 書記次長



宮里 執行委員



佐山 執行委員



野間口 執行委員



尾形 特別執行委員



岩崎 特別執行委員

日ごろの組合活動大変お疲れさまです。
鹿児島分会は7月より新たな体制でスタートしました。
今期も引き続き諸課題等に取り組みながら、職場環境・生活環境の向上を目指して活動していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

北九州分会



福永 分会長



国友 書記長

九州航空支部管内の組合員の皆様、日頃の組合活動大変お疲れさまです。
北九州分会は7月より役員2名での新体制がスタートしました。
より良い職場環境を目指し、団結して頑張りたいと思っております。
ともに頑張りましょう。

熊本分会



松田大作 分会長



梶原亮尚 副分会長



芝原雄一 書記長



田中 剛幸 執行委員

九州航空支部組合員の皆さま、日頃の奮闘お疲れ様です。熊本分会は7月より新執行部体制での活動をスタートしました。熊本県の蒲島知事は熊本空港を熊本地震からの復興のシンボルとして位置づけております。熊本（事）としては、コンセッション、TAPS整備等、忙しい年度となります。職場もその変化に徐々に直面していくこととなりますが、みんなで団結して活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします

宮崎分会



永山厚志 分会長



齋藤紘介 書記長



引地耕介 執行委員

九州航空支部各分会の組合員のみなさま、日頃の組合活動お疲れさまです。
7月6日に定期大会を開催し、宮崎分会56期体制がスタートしました。
昨年の鹿児島との空域ターミナル統合により組合員数が激減しましたが、良き
職場環境、生活環境を目指し、組合員一致団結で頑張っていきたいと思ひます。
みなさまのご支援・ご指導を宜しくお願いいたします。

長崎分会



南條健太 分会長



桶田なな 副分会長



東雲才一 書記長

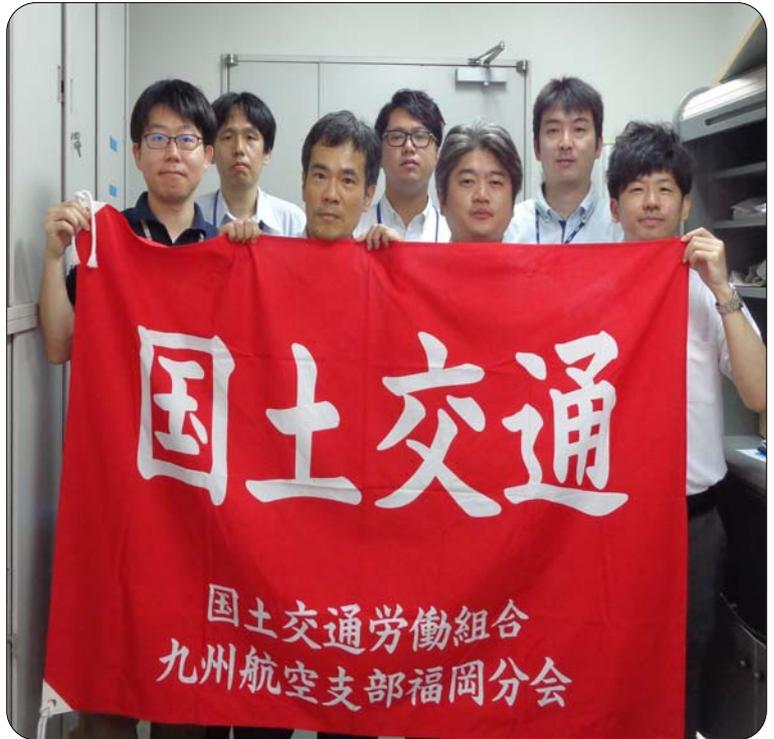


松本萌 執行委員

組合員の皆様、日々の奮闘お疲れ様です。長崎分会も7月より新たな体制で分会活動をスタートしました。より良い職場環境の実現を目指して、みんなで一致団結して頑張りたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。

福岡分会

7月から2018年度福岡分会がスタートしました。
1年間、組合員の皆さまのお役にたてるよう、せいっぱい頑張りますので、支部の皆さま支援の方よろしくお願ひ致します。



今村 分会長



三津間 副分会長



三好 書記長



樋渡 書記次長



大石 執行委員



大坪 執行委員



小林 執行委員

福管分会



周寶達也 分会長



平野大樹 副分会長



大山紗緒理 副分会長



三宅紳一 副分会長



大園新吾 書記長



塚本浩司 書記次長



藤川直行 書記次長



大橋敬仁朗 執行委員



吉岡徳子 執行委員



佐藤京子 執行委員



佐々木仁志 執行委員



中島純平 執行委員

「組合員の皆様、お疲れ様です。福管管制部分会も新体制になって2か月が過ぎようとしています。私たちも、九州航空支部および各分会の皆さまと手を取り合って力強くこの1年を歩んでいきたいと考えています。会議やイベント等で皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。」

安倍9条改憲阻止！労働法制改悪反対、 いまずぐ最賃千円以上、公務員賃金改善 18夏季闘争7・25中央行動

7月25日、全労連・国民春闘共闘などが主催する「安倍9条改憲阻止！労働法制改悪反対、いまずぐ最賃千円以上、公務員賃金改善18夏季闘争7・25中央行動」が行われ、九航支部も国公労連のなかまとともに参加してきました。



18夏季闘争 7.25中央行動の様子

○人事院・厚労省前に全 国のなかまが集結

霞が関にある人事院・厚労省前には国公労連をはじめ自治労連や全教など「最低賃金引上げ」や「公務員賃金改善」の要求を同じくするなかまが全国から集結し、庁舎前の歩道は人と旗で埋め尽くされ、車道を挟んだ反対側の歩道にまで人であふれました。

真夏の日差しが照りつけるなか、宣伝カーの上から降り注ぐ熱いスピーチは、あたりの蝉時雨を完全にかき消して、お昼休みの霞が関に鳴り響いていました。最後は人事院・厚労省へのシュプレヒコールで大いに盛り上がりました。



暑さに負けずシュプレヒコールで盛り上がる

○日比谷野音の総決起集 会と銀座デモ行進

その後、場所を日比谷野音楽堂に移して総決起集会が行われました。

冒頭、国民春闘共闘の小田川代表幹事から主催者あいさつがあり、全国一律最賃制の導入、18人勸での民間に範を示す定年延長制度の提示、安倍9条改憲を阻止する今後のたたかいについて訴えがありました。

続いて、橋口事務局長から安倍改憲を許さないための三千万

署名の引き続きの推進、各地の最賃審議会での最賃を引上げさせるとりくみ、人勸に向けた初任給など給与改善と定年延長の要求、働き方改革関連法成立を受けた悪法から職場を守る職場闘争の推進が提起されました。

決起集会終了後は銀座デモ行進に参加して街の人々に我々の行動をアピールしてきました。デモの中に入って歩くと、道行く人の視線が結構集まることを実感できます。工事現場の方々が手を休めてこちらを見ていたのが印象的でした。日比谷公園（外堀通り）数寄屋橋交差点（鍛冶橋）を歩いて7・25中央行動を終えました。



わっぜかごんまは あちたっどのお話



えっ？タイトルに何を書いてあるのが分からなかったですか？すいません。鹿児島弁なんです。

「わっぜ、かごんまは、あちたっど」というのは「すつこく、鹿児島は、熱いですよ」って意味です。

鹿児島、熱いですよ！夏だから？いえいえ、それもありますが、「西郷どん」ですよ！せごどん！

ということ、今回、私、夏休みを利用して、大河ドラマ「西郷どん」のロケが行われました指宿まで行って参りました。

指宿には、鹿児島中央駅から「玉手箱」という観光列車に乗って行くことにしました。

九州に転勤してきてびっくりしたんですが、JR九州の電車のバラエティって凄いですよね。



白黒ツートンの
玉手箱号

ソニック、ゆふいんの森、阿蘇ぼーいとか。今回乗った「玉手箱」も私が乗って見たかった電車のひとつだったので、「西郷どん」ついでに乗ってみることにしたので。

鹿児島中央駅に到着した玉手箱号は、白と黒のツートンカラーという独特のカラーリングで、玉手箱の名前の通り、昇降ドアが開くと、まるで玉手箱を開けたような煙（実際は水のミスト）が出てくるというニクイ演出をしてくれる電車となっています。

玉手箱号は鹿児島中央駅から

指宿駅まで約1時間で走ります。海岸線を走るので窓から見える桜島や錦江湾の綺麗な景色に癒されながら指宿駅まで楽しみながらの旅になりました。

さてさて、指宿に到着してみると、さすがに「西郷どん」熱いですね。指宿駅近くには「西郷どん館」ありました！ロケの行われた時の写真や主役の鈴木亮平さんの着ていた衣装の展示など、今が熱い！といった感じの展示がなされていました。



でも一番熱いかったのは、やっぱり砂風呂でしたね。夏の砂風呂、熱いってもんじゃやないですね（笑）。

編集後記

今年の夏は異常な暑さになってますね。毎年、毎年異常気象だと騒がれるので、何が正常なのか分からなくなっている気がします。流石に観測史上最高気温など報道されること、異常なんだなという感じを感じてしまっていますね。

今年の夏は福岡で観測史上最高の38.3度だったらしいです。こう暑いと、体調管理が大切になってきますよね。熱中症にならないように水分を取ることが必要だと思います。私、昔、野球をやっていたのですが、夏の暑い時でも監督から「水を飲むな！」「ボールに集中しろ！」「な」と根性論で水も飲めなかったんですかねえ。時代の変わると何が本当なのかわからなくなりました。未来では何が本当なのでしょう？



梅里